高円宮妃杯 JFA 第 30 回全日本Ｕ‐１５女子サッカー選手権大会参加報告

報告者：広島県２級審判員　宮﨑希実

＜研修日程＞

2025 年 12 月 5 日（金）～12 月 7 日（日）
事前研修（zoom）2025 年 11 月 29 日（土）

＜大会要項＞

試合日：1 回戦 12 月 6 日、2 回戦 12 月 7 日
会場：J-GREEN 堺（大阪府堺市）

＜1 日目＞

担当試合：AC.gloriagirls （大阪府） 対　北陸大学フィオリーレ（石川県）
R：宮﨑希実　　AR1：松﨑涼さん　AR2：杉本隼乙さん　4 th：平井裕雄さん
試合に入る前、大阪の審判員の方々と色々な話をし、いい雰囲気で入ることができました。審判員全員明るい方で、話がとても弾み、緊張はあまりせず笑顔でできました。試合中では、選手目線に立ち、対立せず、楽しくレフリングをすることができました。
インストラクターの鮎貝さんに見てもらい、良かったところ、次への改善点を話していただきました。試合前からの雰囲気、走り方、ポジショニング、走り出し、ロングスプリント、などたくさんの良いところがあるよと言っていただきました。改めて自分自身の良いところを知ることができ、もっと伸ばしていきたいと思いました。改善点として、選手の飛び出しを監視するため、キックオフのポジションを選手の位置を見て調節すること、フリーキックの時、キッカーが特定されて壁の位置を離すなどがあがりました。松﨑さんからは、8 秒ルールのカウントが若干速いから、ゴールキーパーとフィールドの選手の動きをしっかり見ようと教えていただきました。

＜2 日目＞

担当試合：セレッソ大阪ヤンマーガールズ　対　朝日インテック・ラブリッジ名古屋スターチス
R：宮﨑希実　AR1：加瀬田彩華さん　AR2：野田健太郎さん　4th：原健二さん
2 日目の割り当ては 1 日目の夜に試合結果などでインストラクターが話し合い、決まりました。2 日目間も主審を担当できて、とても嬉しかったです。
セレッソ大阪と名古屋の試合を前日見て、スピードが速く、足元でプレーするチームで、ファールが多そうなので、しっかり近くで見ようと思いました。試合中では、足元だ

けでなく、腕のファールも多かったのですが、基準を統一させ、注意をし、善悪はっきりさせました。両チームとも有名で熱い試合になることを予想していました。予想通り白熱した試合で、カウンターの繰り返しでした。カウンターでゴールキーパーとの一対一の状況が何度かあり、見落とさないように監視することができました。また、ペナルティーエリア内でのファールがあり、ＰＫをとり、自信を持った判定をすることができました。目を残してしっかり見るようにはしていますが、次のプレーを見て、アフターが見えていない時がある、怖いなって思うときがあったと言ってもらえたので、もっと意識しようと思いました。

＜最後に＞

全国大会で２日間も主審を担当させていただきました。

様々なことにチャレンジすることができました。常に冷静でいること、強い意志を持つこと、常に冷静さと公平さを保つことが重要と改めて感じました。

今後は、より的確なポジショニングや競技規則の理解を深めたい。そして、信頼される審判員を目指し、継続的に経験を積んでいきたいです。

最後になりましたが、会場運営の方、大阪府サッカー協会の方々、審判員の方々、インストラクターの方、２日間ありがとうございました